

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日	単元株式数	100株
剰余金の配当基準日	3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）	株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年6月下旬		

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	0120-288-324（フリーダイヤル）
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

公告方法 電子公告（<http://www.kourakuen.co.jp>）
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

楽天市場店にご来場ください。



本年4月にインターネット販売店として「幸楽苑 楽天市場店」をオープンさせて頂きました。インターネット市場の急成長を背景に、弊社のネット戦略への段階的着手となる店舗です。インターネット販売ならではの品揃えもございますので、是非ご来場ください。

<http://www.rakuten.co.jp/webkourakuen/>

ホームページをご覧ください。



<http://www.kourakuen.co.jp>

お得なクーポンや店舗情報は「モバ麺クラブ」にアクセス！

モバ麺クラブ

モバ麺クラブアドレス（携帯サイト）
<http://www.kmb.bz>



昭和二十九年創業

幸楽苑

—多加水熟成麺—

株式会社 幸楽苑

〒963-0725 福島県郡山市田村町金屋字川久保1番地1

Tel.024-943-3351 Fax.024-943-3726

URL <http://www.kourakuen.co.jp>

41th Business Report

2010.4.1 ▶▶▶ 2010.9.30

昭和二十九年創業

幸楽苑

—多加水熟成麺—



株式会社 幸楽苑

第41期

中間報告書



証券コード：7554

店舗QSCレベルの向上と自社工場における大量生産体制の強化により、さらなる飛躍への基盤固めに取り組みました。

■事業環境

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、輸出増加などにより景況感の改善が見られる一方、円高・株安への動きが加速し、先行き不透明感が強まる状況となりました。また、雇用・所得環境も停滞したままで個人消費も低調に推移しており、デフレ基調がより鮮明となりました。外食産業におきましても、消費者の生活防衛意識は依然として強く、外食機会の減少が続いています。さらにオーバーストアによる競争激化が一段と強まり、厳しい経営環境となっております。

■取り組みと実績

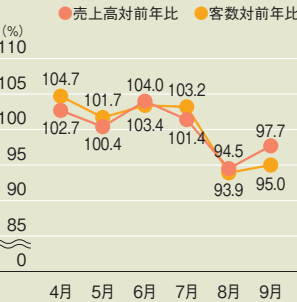
こうした状況の中で、当社グループは、顧客満足度向上による既存店活性化を企業成長の基本と考え、店舗QSC(「品質」「サービス」「清潔感」)レベルの向上に取り組んでまいりま

した。また、自社のコミッサリー(食品加工工場)における主要食材の大量生産体制の強化を行い、低価格戦略を継続しています。さらに店長教育を徹底し、収益性および利益率改善の施策を推進してまいりました。その結果、当第2四半期累計期間の連結業績は、売上高17,732百万円(前年同期比0.4%減)、営業利益1,162百万円(同10.3%減)、経常利益1,195百万円(同9.7%減)、四半期純利益につきましては、「資産除去債務に関する会計基準」および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」の適用にともない、特別損失として305百万円を計上したことから379百万円(同44.8%減)となりました。

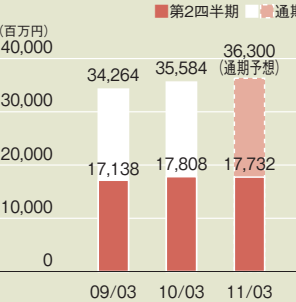
■通期の見通し

平成23年3月期の連結業績予想につきましては、売上高36,300百万円(前年同期比2.0%増)、営業利益2,640百万円(同8.4%増)、経常利益2,698百万円(同8.8%増)、当期純利益1,167百万円(同7.3%増)を予想しております。

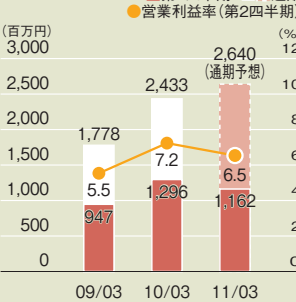
当第2四半期の
月次推移(直営店全店)



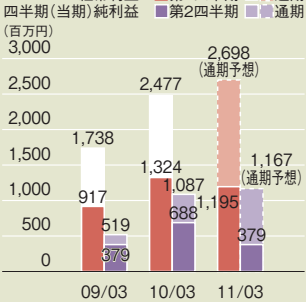
連結売上高



連結営業利益
連結売上高営業利益率



連結経常利益
連結四半期(当期)純利益



顧客満足度の向上を図る 新たな施策と店舗開発力の強化を 推進してまいります。

代表取締役社長

新井田 傳

AQ 第2四半期の業績について

第1四半期は好調に売上を伸ばしてきましたが、夏に入り、これまでにない記録的、かつ長引く猛暑の影響を受け、遺憾ながら既存店の売上が前年同期を若干下回るという結果となりました。夏場商品が少なく顧客ニーズに充分に対応出来なかったことが要因であり、深く反省しております。それを踏まえ、来夏も猛暑を想定し、早期より魅力的な夏場商品の企画開発に着手してまいります。今後、商品戦略的には、年間を通じた定番商品の他に季節商品の投入を行い、積極的に来店促進を図っていく所存です。新規出店については現段階は計画どおりであります。既存店の売上ダウンをカバーするには至らず、更なる出店を確実なものとするため、目下店舗開発につきましても組織体制の強化に努めております。

AQ 「テーブル担当制」について

当社は“テーブル・サービス・レストラン型”らーめん店の展開により、女性客や家族連れなどの幅広い層にらーめん、ギョーザ、チャーハンを楽しんでいただける「日本一サービスレベルの高いらーめんチェーン」を目指しております。以前よりサービス面の強化に努めてきましたが、新たな施策として「テーブル担当制」を4月からスタートさせました。この制度は、来店するすべてのお客様に満足のいくサービスを提供するためのもので、時間帯別来店客数予測に基づく適切な人員配置や優先順位に従った作業の実施など、様々な厳しいチェック項目で評価し、基準をクリアした場合に認定するものです。この制度の導入により、店長をはじめ各店のスタッフの士気の高揚が図られるとともに、“テーブル・サービス・レストラン型”らー

めんチェーンの標準化に大きな効果を生んでいます。現在までに209店舗（10月末時点）が合格の認定を受けており、年度末までには360店の認定を目標としています。商品力では「マイスター制度」、サービス力では「テーブル担当制」により、顧客満足度のさらなる向上に努めてまいります。

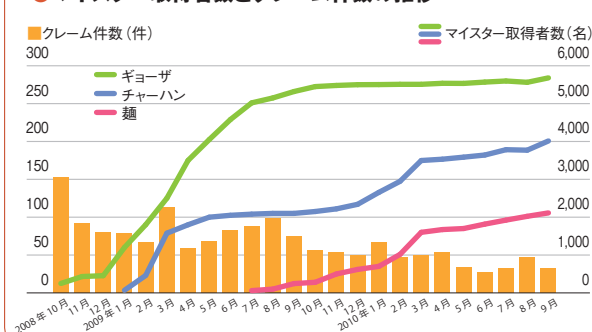
テーブル担当制導入の目的

1. お客様とのコミュニケーション機会の創出
2. 思いやりのあるサービスの徹底（クレーム撲滅）
3. 従業員、店長のモチベーションアップ

AQ マイスター制度の進捗状況は？

2008年秋から、主力商品（らーめん・ギョーザ・チャーハン）の品質向上を目的とした店舗従業員に対する調理資格制度（マイスター制度）を導入しております。厳しい筆記・実技試験をパスしなければなりません。当第2四半期末における資格取得者数につきまして、ギョーザマイスターは約5,600名、チャーハンマイスターは約4,000名、麺マイスターは約2,100名が取得しております。全店レベルでの商品力の確実な向上につながっております。

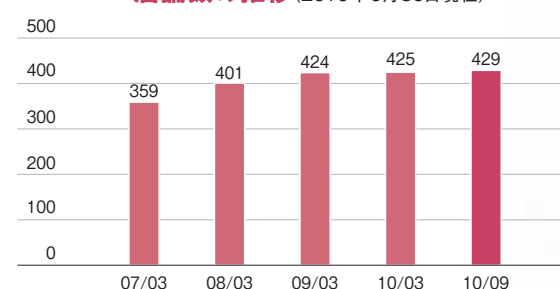
● マイスター取得者数とクレーム件数の推移



AQ 店舗展開における計画と戦略は？

当社では、第50期（2020年3月期）までに、1,000店の店舗展開を目指しております。当期は15店の出店予定ですが、来期以降は每期、総店舗数の1割の数を新規にオープンさせていく計画です。そのため当期より、店舗開発を手がける開発部門の組織体制強化に着手しております。もちろん安易な出店を行わず、これまで以上に厳しい出店基準を設け、年商1億円の達成を可能とする立地、家賃比率8%以下の物件確保を推進しております。当社では来るべき1,000店舗展開へ向け、品質面、サービス面、自社のコミッサーによる商品供給面でその基礎固めをほぼ完了しており、いよいよ出店攻勢へと踏み出してまいります。

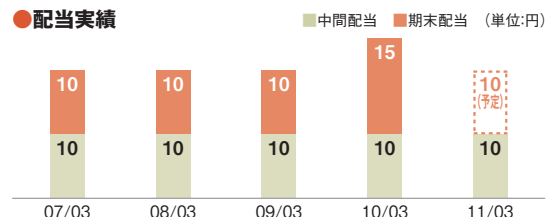
店舗数の推移 (2010年9月30日現在)



AQ株主様へのメッセージをお願いします

当社は、株主様に対する配当方針を重要政策のひとつと考えております。当第2四半期末につきましては、1株当たり10円の配当を実施いたします。また、期末につきましても1株当たり10円の配当を予想しており、年間20円の配当となる予定です。また、株主優待制度として、グループ店舗で食事が楽しめる優待券等を贈呈し、株主の皆様から大変好評を得ております。今後も継続的な株主優待に努めていく所存です。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご指導とご支援を宜しくお願い申し上げます。



利益配分に関する基本方針及び当期の配当について

当社は、株主に対する配当方針を重要政策のひとつと考えており、会社の競争力を維持・強化して、株主資本の拡充と同利益率の向上を図るとともに、配当水準の向上と安定化に努める方針であります。内部留保による資金は、新規店舗出店に充当することを予定しており、将来的には収益性の向上を図り利益還元を行う予定であります。

平成22年10月28日開催の当社取締役会において第41期の中間配当金を10円と決議いたしました。期末配当金につきましても、期初の予想通り10円、年間では20円の配当予想とさせていただきます。

※2010年3月期の配当金には、直営店出店400店達成の記念配当金5円が含まれております。

株主優待制度のお知らせ

毎年3月末日現在の株主の皆様に対し、優待券を年1回、以下の基準により贈呈いたしております。

●贈呈基準

ご所有株式数	①	②
1,000株以上	20,000円相当の優待券 (500円×40枚)	コシヒカリ 10kg
500株以上 1,000株未満	10,000円相当の優待券 (500円×20枚)	コシヒカリ 5kg
100株以上 500株未満	2,000円相当の優待券 (500円×4枚)	

それぞれ①もしくは②のいずれか1つをお選びいただけます。

●利用方法 当社グループ店舗(幸楽苑、和風厨房 伝八、福島県内のフライングガーデン)でご利用いただけます。

●有効期限 発行日より1年間



特集「ミッション5」取り組み状況

マイスターの育成、テーブル担当制の強化を重点課題として取り組んでおります。

当社は、「日本一サービスレベルの高いらーめんチェーン」を目標に掲げ、店舗においてミッション5と名付けた最重要課題に取り組んでおります。右の諸課題を着実に実行し、当下半期以降は、特に「マイスターの育成」、「テーブル担当制」を重点課題と位置づけ、引き続き取り組みを強化し、顧客満足度の向上を図ってまいります。

< ミッション5 >

1. クリンリネスのスタンダードを実行します。
2. 商品のスタンダードを実行します。
3. マイスター育成を実行します。
4. テーブル担当制を実行します。
5. 8分以内提供を実行します。

1 マイスターの育成

クオリティの高い商品を、いつでもどこでも均質に提供する為に、2008年秋から調理資格制度(マイスター制度)を導入しております。商品開発部主催の厳しい筆記・実技試験を経て、主力商品である、麺、ギョーザ、チャーハンそれぞれのマイスターを育成しています。麺マイスターに関しては、中華そばだけでなく、野菜らーめんについてもマイスター制度を設けて教育指導を実施しております。各店舗の従業員数の70%のギョーザマイスターの取得、50%のチャーハンマイスターの取得、40%の麺マイスターの取得を目標にして取り組みを続けております。

●マイスター取得者数と当期末の目標

	9月末現在	当期末目標
ギョーザマイスター	5,500	6,000
チャーハンマイスター	3,700	4,200
麺マイスター	2,100	3,000

2 テーブル担当制

現在、「テーブル・サービス・レストラン型」のらーめん店を目指し、テーブル担当制を導入しております。テーブル担当制は、ホールを分割して担当ゾーンを割り当て、その担当ゾーンのお客様のご来店からお帰りまで、快適な食事が出来るように責任を持ってサービスを行う仕組みです。昨年度より、幸楽苑独自のテーブル担当制のマニュアル作成を開始し、前期3月より導入・教育を実施して参りました。更に、当期7月からは、テーブル担当制認定制度を設けております。実際の土日のピーク時間帯に、本部役員・部次長がお客様として1店舗ずつ来店し、テーブル担当制のルールに沿ってサービスが来ているかのチェックを実施しております。現在、認定店舗数は郊外店舗360店舗中209店舗となっております。全店認定店舗とし、らーめんチェーンにおいて初の「テーブル・サービス・レストラン型」業態を確立すべく全社を挙げて取り組んでおります。



四半期連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (2010年9月30日現在)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2010年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	3,978,618	4,664,600
固定資産	16,902,143	16,586,794
有形固定資産	10,858,842	10,514,145
無形固定資産	167,615	143,886
投資その他の資産	5,875,685	5,928,763
資産合計	20,880,761	21,251,394
負債の部		
流動負債	6,914,203	7,100,089
固定負債	4,676,186	4,980,983
負債合計	11,590,389	12,081,072
純資産の部		
株主資本	9,266,045	9,130,116
資本金	2,661,662	2,661,662
資本剰余金	2,658,096	2,658,096
利益剰余金	3,966,095	3,830,062
自己株式	△ 19,808	△ 19,705
評価・換算差額等	276	805
その他有価証券評価差額金	276	805
新株予約権	24,050	39,400
純資産合計	9,290,371	9,170,321
負債・純資産合計	20,880,761	21,251,394

(注)千円未満は切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 (自2010年4月 1日 至2010年9月30日)	前第2四半期連結累計期間 (自2009年4月 1日 至2009年9月30日)
売上高	17,732,363	17,808,358
売上原価	4,861,858	4,953,259
売上総利益	12,870,504	12,855,098
販売費及び一般管理費	11,707,596	11,558,583
営業利益	1,162,908	1,296,515
営業外収益	150,853	141,420
営業外費用	118,087	113,173
経常利益	1,195,673	1,324,763
特別利益	74,808	33,188
特別損失	452,607	74,418
税金等調整前四半期純利益	817,874	1,283,533
法人税等合計	438,029	595,097
法人税、住民税及び事業税	534,929	553,885
法人税等調整額	△ 96,900	41,212
四半期純利益	379,845	688,436

(注)千円未満は切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：千円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 (自2010年4月 1日 至2010年9月30日)	前第2四半期連結累計期間 (自2009年4月 1日 至2009年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	681,861	1,331,959
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 801,105	△ 1,098,192
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,157,681	△ 1,111,367
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,276,925	△ 877,600
現金及び現金同等物の期首残高	2,789,434	2,685,874
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,512,509	1,808,273

(注)千円未満は切り捨てて表示しております。

店舗ネットワーク

現在、「幸楽苑」は429店舗※。
1,000店舗体制を目指しています。

※ 2010年9月30日現在。「和風厨房 伝八」2店舗、「フライングガーデン」1店舗を含む。

当第2四半期累計期間の店舗展開につきまして

は、直営店「幸楽苑」の6店舗を新規出店し、スクラッ

プ・アンド・ビルドを直営店1店舗で実施するとともに、

スクラップを直営店2店舗で実施、さらにフランチャイ

ズ加盟店から直営店への転換を1店舗で実施いたし

ました。この結果、当第2四半期末の「幸楽苑」の直

営店の店舗数は402店舗(前年同期比5店舗増)とな

りました。その他の事業は、ラーメン業態のフランチャ

イズ加盟店24店舗、「和風厨房伝八」(和食業態)2

店舗、「フライングガーデン」(ハンバーグ業態)1店舗

となっております。

昭和二十九年創業
幸楽苑
—多加水熟成麺—

●福島県 48店舗
●宮城県 33店舗
●山形県 10店舗
●青森県 7店舗
●秋田県 11店舗
●岩手県 4店舗

●新潟県 14店舗
●山梨県 7店舗
●長野県 10店舗

●栃木県 21店舗
●茨城県 31店舗
●群馬県 11店舗
●埼玉県 38店舗
●千葉県 36店舗
●東京都 24店舗
●神奈川県 25店舗

●静岡県 20店舗
●愛知県 31店舗
●三重県 8店舗
●岐阜県 8店舗

(2010年9月30日現在)

●富山県 3店舗
●福井県 4店舗

●京都府 1店舗
●滋賀県 3店舗
●大阪府 6店舗
●奈良県 1店舗
●兵庫県 10店舗
●和歌山県 1店舗

新店舗紹介

●山形嶋店
開店日 2010.4.19
所在地 山形県山形市嶋北4丁目2-14

●富士吉田店
開店日 2010.8.9
所在地 山梨県富士吉田市新西原4丁目11番5号

●京都久御山店
開店日 2010.10.18
所在地 京都府久世郡久御山町田井向野17番地1

●佐倉錦木町店
開店日 2010.5.31
所在地 千葉県佐倉市錦木町399-3

●尼崎武庫之荘店
開店日 2010.9.27
所在地 兵庫県尼崎市武庫の里1丁目1番33号

●東松戸駅前店
開店日 2010.11.16
所在地 千葉県松戸市紙敷933-1

●一宮牛野通店
開店日 2010.7.26
所在地 愛知県一宮市牛野通2丁目43番地

●足立一ツ家店
開店日 2010.9.27
所在地 東京都足立区一ツ家1丁目21番16号

会社の概要

商号	株式会社 幸楽苑
設立	1970年11月11日
主な事業の内容	当社は、らーめん、餃子等を製造・直販するほか、麺、スープ等の食材並びに消耗品等の販売、フランチャイズ加盟店の募集及び加盟店の経営指導業務、和食及びハンバーグ等の販売を主な事業とし、福島、宮城、山形、秋田、岩手、青森、栃木、茨城、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、静岡、愛知、三重、岐阜、新潟、山梨、長野、富山、福井、京都、滋賀、大阪、奈良、兵庫、和歌山の28都府県に店舗展開をいたしております。
店舗数	429店舗 直営店 405店舗 FC店 24店舗
資本金	2,661百万円
本店所在地	福島県郡山市田村町金屋字川久保1番地1
工場	郡山工場：福島県郡山市田村町金屋字川久保1番地1 小田原工場：神奈川県小田原市中村原521-1 京都工場：京都府京田辺市大住門田20
従業員数	1,155名 上記従業員のほかに、臨時従業員3,242名（1日7時間45分換算）を雇用しております。

当社ウェブサイトを是非ご覧ください。

http://www.kourakuen.co.jp/ir/index.php

取締役及び監査役

代表取締役社長	新井田 傳
代表取締役副社長	佐藤 清（店舗運営本部長）
常務取締役	武田 典久（管理本部長）
取締役	久保田祐一（経理部長）
取締役	武田 光秀（供給本部長兼京都工場長）
取締役	伊藤 修一（内部監査室長）
取締役	青木 憲夫（開発本部長兼渉外部長）
常勤監査役	松本 廣文
監査役	八島 彬乃
監査役	遠藤 大助
監査役	前田 昭

監査役 八島彬乃、遠藤大助及び前田昭の三氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

執行役員

総務部長	藤村 哲
環境対策部長	馬場 定義

関連会社の概要

株式会社 デン・ホケン	
設立	2002年2月19日
主要な事業の内容	保険代理店業務
資本金(出資比率)	3,000万円(100%)
株式会社 スクリーン	
設立	2003年1月28日
主要な事業の内容	広告代理店業務
資本金(出資比率)	5,000万円(100%)

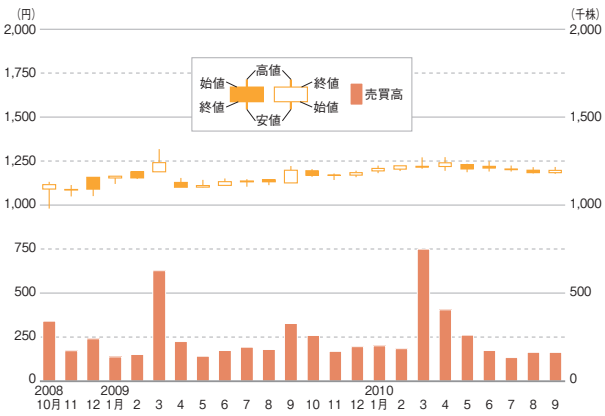
株式の状況

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	16,268,441株
株主数	18,979名

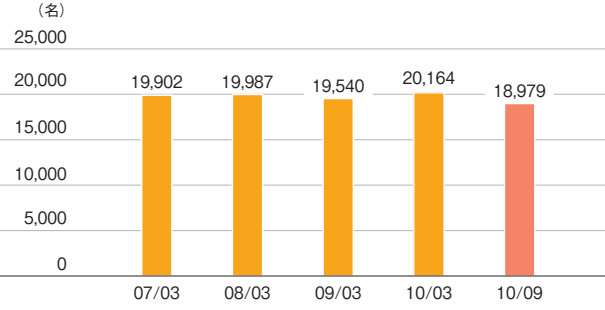
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
新井田 傳	3,612	22.20
有限会社エヌテイ商事	1,336	8.21
日東富士製粉株式会社	445	2.74
幸楽苑従業員持株会	363	2.23
株式会社東邦銀行	321	1.97
株式会社大東銀行	266	1.64
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	257	1.58
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	169	1.04
アリアケジャパン株式会社	156	0.95
株式会社みずほ銀行	150	0.92

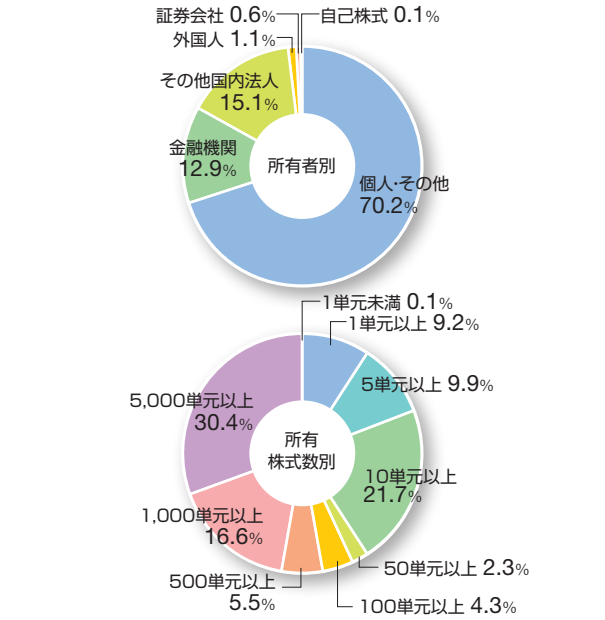
株価・出来高の推移



株主数の推移



株式の分布状況



※ 10株以上には、自己名義株式 14,336株 (0.1%) が含まれております。